

# 第五次国有林野施業実施計画書

(宗谷森林計画区)

計画期間 ( 自 平成28年4月 1日  
至 平成33年3月31日 )

策定年月日：平成28年3月28日

北海道森林管理局

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	7
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	7
6	レクリエーションの森の名称及び区域	8
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	9
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	10
	(2) フィールドの提供	10
	(3) 森林共同施業団地	11

---

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域  
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

- (1) 伐採造林計画簿  
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
- (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

（単位：h a）

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	2,644	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。  【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	—	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。  【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	3,380	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	18,667	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	41,444	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	15,754	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。  【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	—	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。	
合計	81,890			

注) 林地面積の集計である。  
計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。（以下の表についても同じ）

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	192	-	595	3,111	6,904	2,610	-

(4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、h a)

区 分	林 地				計	林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量			
山地災害防止タイプ	9,694	(2,354) 120,470	130,164				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	-	-				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(164) 12,590	10,237	22,827			
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	(626) 24,348	31,416	55,764			
	混交林	(935) -	44,975	44,975			
	育成天然林	-	-	-			
	天然生林	-	-	-			
	その他	-	-	-			
	計	(1,725) 36,938	86,628	123,566			
合 計	46,632	(4,079) 207,098	253,730	40,000	293,730	-	293,730
年 平 均	9,326	(816) 41,420	50,746	8,000	58,746	-	58,746

注) 上段 ( ) は、間伐面積である。

## (再掲) 市町村別内訳

(単位: m<sup>3</sup>、ha)

市町村名	林 地					林地 以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
稚 内 市	11,952	(819) 47,658	59,610				
猿 払 村	-	(64) 3,626	3,626				
浜 頓 別 町	-	(251) 11,058	11,058				
中 頓 別 町	2,637	(465) 24,637	27,274				
枝 幸 町	28,761	(1,493) 64,363	93,124				
豊 富 町	3,282	(985) 55,734	59,016				
礼 文 町	-	-	-				
利 尻 町	-	(3) 22	22				
利尻富士町	-	-	-				
幌 延 町	-	-	-				
合 計	46,632	(4,079) 207,098	253,730				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段( )の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

## (5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	-	-	-	-	29	29
	複層林造成	83	-	-	-	205	288
	計	83	-	-	-	234	318
天然 更新	天然下種第1類	19	-	-	-	584	604
	天然下種第2類	-	-	-	-	-	-
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	19	-	-	-	584	604
合 計		103	-	-	-	819	921

## (6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	1,040		7		5,208	6,255
	つる切り	157		35		443	634
	除 伐	1,412		311		3,987	5,710

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
宗谷森林管理署						
その他	開設	豊別4の沢	36	2,000		稚内市
		クトネベツ	72, 73	3,500		〃
		ゴナ	3006, 3007	8,680		枝幸町
		北志美宇丹	3143, 3144	4,000		〃
		下志美宇丹	3148	2,000		〃
		上辺毛内右沢	3164, 3165	2,000		〃
		豊幌本流	4105, 4112, 4113	3,600		豊富町
		豊幌四ノ沢	4113	2,000		〃
		九線2号	4152, 4156	2,000		〃
		雁皮	4154	2,000		〃
			計	10 路線		
基幹	改良	苗太路	1007	40	2	稚内市、溝渠工
		奥苗太路	1007	20	1	稚内市、溝渠工
		石炭別	1049	40	2	猿払村、溝渠工
		上猿払	1079	40	2	猿払村、溝渠工
		土岐体	1086	40	2	浜頓別町、溝渠工
		幌尻	4125	20	1	豊富町、溝渠工
		小屋の沢	4143	40	2	豊富町、溝渠工
		沙流九線	4151	40	2	豊富町、溝渠工
		兜沼	4162	40	2	豊富町、溝渠工
			計	9 路線		320
森林計画区合計						
開設	基幹	路線				
	その他	10 路線		31,780		
	計	10 路線		31,780		
改良	基幹	9 路線		320	16	
	その他	路線				
	計	9 路線		320	16	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計 画 量	備 考
宗谷森林管理署				
宝来地区 80林班	保全施設	溪間工	2 箇所	稚内市
富士見地区 81～83林班	保全施設	溪間工	3 箇所	〃
宗谷地区 86林班	保全施設	溪間工	2 箇所	〃
桃岩地区 129, 130林班	保全施設	溪間工	2 箇所	礼文町
津軽地区 131林班	保全施設	溪間工	2 箇所	〃
セパウン沢 108, 109林班	保全施設	溪間工	3 箇所	利尻町
大空沢川 110, 111林班	保全施設	溪間工	12 箇所	〃
アフトロマナイ川 102, 103林班	保全施設	溪間工	3 箇所	利尻富士町
ヤムナイ沢 104, 105林班	保全施設	溪間工	12 箇所	〃
湾内地区 121, 122, 126, 127林班	保全施設	溪間工	2 箇所	〃
稚内裏山地区 77, 78林班	保全施設	山腹工	4 箇所	稚内市
宝来地区 80林班	保全施設	山腹工	2 箇所	〃
富士見地区 81～83林班	保全施設	山腹工	3 箇所	〃
宗谷地区 86林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
東浦地区 1101林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
桃岩地区 129, 130林班	保全施設	山腹工	3 箇所	礼文町
香深地区 132林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
起登臼地区 139林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
高山地区 151林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
船舶地区 157林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
元地地区 164林班	保全施設	山腹工	2 箇所	〃
湾内地区 121, 122, 126, 127林班	保全施設	山腹工	2 箇所	利尻富士町
緑地区 75～78林班	保安林の整備	植栽工	18 ha	稚内市
メークマ地区 85林班	保安林の整備	植栽工	4 ha	〃
猿払地区 1099林班	保安林の整備	植栽工	3 ha	猿払村
枝幸地区 3240～3242林班	保安林の整備	植栽工	8 ha	枝幸町
山臼地区 3243～3245林班	保安林の整備	植栽工	10 ha	〃
問内地区 3246, 3247林班	保安林の整備	植栽工	3 ha	〃
礼文地区 156, 157林班	保安林の整備	植栽工	31 ha	礼文町
富士地区 118, 119林班	保安林の整備	植栽工	6 ha	利尻町
利尻地区 102, 103林班	保安林の整備	植栽工	4 ha	利尻富士町
メークマ地区 85林班	保安林の整備	本数調整伐	30 ha	稚内市
猿払地区 1099林班	保安林の整備	本数調整伐	6 ha	猿払村
智福地区 1097林班	保安林の整備	本数調整伐	85 ha	浜頓別町
枝幸地区 3240～3242林班	保安林の整備	本数調整伐	22 ha	枝幸町
山臼地区 3243～3245林班	保安林の整備	本数調整伐	37 ha	〃
問内地区 3246, 3247林班	保安林の整備	本数調整伐	6 ha	〃
礼文地区 156, 157林班	保安林の整備	本数調整伐	120 ha	礼文町
利尻富士地区 108, 110, 111, 116林班	保安林の整備	本数調整伐	50 ha	利尻町
利尻富士地区 105, 107, 林班	保安林の整備	本数調整伐	23 ha	利尻富士町
森林計画区合計	保全施設	溪間工	43 箇所	
		山腹工	22 箇所	
		計	65 箇所	
	保安林の整備	植栽工	87 ha	
		本数調整伐	379 ha	
		計	466 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生物遺伝資源 保存林	利尻・礼文 森林生物遺伝資源保存林	既設	5,400.07	別表 参照	エゾマツ・トドマツの北方常緑針葉樹をはじめとする多様な森林群落が生息している状態で、一定のまとまりをもって分布。この群落と一帯となって、チシマザクラ、レブンウスユキソウ等の希少な植物が生息している当該地域の森林を保護することにより、森林生態系に係る生物遺伝資源を自然生態系内に広範囲に保存する。
	森 林 計 画 区 計	1箇所	5,400.07		
林木遺伝資源保存林	旭川グイマツ1 林木遺伝資源保存林	既設	25.58	別表 参照	グイマツ遺伝資源の保存。
	旭川エゾマツ2 林木遺伝資源保存林	既設	9.19	別表 参照	北限のエゾマツ遺伝資源の保存。
	旭川アカエゾマツ ・ダケカンバ3 林木遺伝資源保存林	既設	302.43	別表 参照	アカエゾマツ、ダケカンバの遺伝資源の保存。
	旭川ミズナラ・トドマツ ・シナノキ4 林木遺伝資源保存林	既設	37.89	別表 参照	ミズナラ・トドマツ・シナノキの遺伝資源の保存。
	旭川モンゴリナラ5	既設	15.87	別表 参照	オホーツク海岸線に成育する天然のモンゴリナラの遺伝資源の保存
	旭川モンゴリナラ ・トドマツ6 林木遺伝資源保存林	既設	56.13	別表 参照	日本海側の海岸段丘に成育する天然のモンゴリナラ及びトドマツの遺伝資源の保存。
	森 林 計 画 区 計	6箇所	447.09		
植物群落保護林	レブンアツモリソウ群生地 植物群落保護林	既設	9.60	別表 参照	国内希少野生植物であるレブンアツモリソウの保護。
	稚咲内海岸砂丘林 植物群落保護林	既設	1,961.39	別表 参照	多くが狭小な沼や湿地を介在する数列の砂丘林上に成立した針広混交林、トドマツ林・エゾマツ林・カシワ林等で構成され、湿地は閉塞埋没から森林の侵入に至る遷移を示す、特殊な立地条件下に成立した砂丘林の保護。
	知駒アカエゾマツ林 植物群落保護林	既設	931.00	別表 参照	蛇紋岩地帯に成育したアカエゾマツ純林の保護。
	礼文島西海岸 植物群落保護林	既設	1,427.46	別表 参照	島の西海岸一帯に展開する北方系の高山植物群落に分布する約300種の植物、中でも希少種としてチョウノスケツウ、ウラジロキンバイ、トチナイソウ等、また礼文の名を冠したレブンサイコ、レブンゴザクラ等の保護。
	森 林 計 画 区 計	4箇所	4,329.45		
特定 保護物 生息地	クッチャロ湖 特定動物生息地保護林	既設	383.84	別表 参照	コハクチョウを始めとするシベリア方面からの渡り鳥の中継地及び水鳥の格好の繁殖・生息地の保護。
	森 林 計 画 区 計	1箇所	383.84		
森 林 計 画 区 合 計		12箇所	10,560.45		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然休養林	利尻島 自然休養林	既設	929.04	別表 参照	秀峰利尻山を背景に、その山麓に豊かな森林が広がり、多くの植物が見られ、散策、野鳥観察等、観光客等に親しまれている。	複 天	車道外 (利尻町) 広場外 (北海道、 利尻町) キャンプ 場外 (利尻富 士町)		[*]は、 保健機 能森林 に該当 する森 林
	* (森林スポーツゾーン)		8.34						
	(野外スポーツゾーン)		39.96						
	* (風致探勝ゾーン)		880.74						
計		929.04							
森林計画区計		1箇所	929.04						
自然観察教育林	ふるさと緑の森 自然観察 教育林	既設	50.07	別表 参照	礼文島における数少ない森林帯の一部であり、自然環境に恵まれている。隣接地に運動広場があり、島民の野外スポーツの場として親しまれている。	単 天	キャンプ 場外 (礼文町)		保健機 能森林 に該当 する森 林
	森林計画区計	1箇所	50.07						
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	ノースバレー スキー場 野外スポーツ 地域	既設	32.95	別表 参照	スキー場は休止中であるが、今後の再開に向けて検討中となっており、再開された場合は、市民等のレクリエーション施設として活用される。	複	ゲレンデ 外 (民間)		
	三笠山 スキー場 野外スポーツ 地域	既設	19.51	別表 参照	枝幸市街地に近く、小・中高生のスキー教室や一般町民の冬期間のスポーツの場として立地条件及び眺望が優れている。	複 天	ゲレンデ 外 (枝幸町)		
	香深スキー場 野外スポーツ 地域	既設	7.89	別表 参照	民有地スキー場から接続し、十分な面積が確保され、市民の冬季スポーツの場として安全性も向上し、一層利用されている。	天	ゲレンデ 外 (礼文町)		
	船泊スキー場 野外スポーツ 地域	既設	6.93	別表 参照	地域住民の冬季スポーツの場として、また学校でのスキー教室の場として立地条件が優れ、親しまれている。	天	ゲレンデ 外 (礼文町)		
	森林計画区計	4箇所	67.28						

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	鬼脇野鳥愛護活動林	既設	20.70	別表参照	地元小中学校の野鳥愛護活動の場として親しまれている。	複			
	雄忠志内野鳥愛護活動林	既設	1.87	別表参照	地元小中学校の野鳥愛護活動の場として親しまれている。	天			
	船泊野鳥愛護活動林	既設	4.17	別表参照	地元小中学校の野鳥愛護活動の場として親しまれている。	天			
	稚内風景林	既設	1,054.03	別表参照	稚内公園に隣接しており、自然観察、ハイキング、山菜採取等市民のレクリエーションの場として親しまれている。	単 複 天	歩道外 (国、稚内市)	歩道延長 3,600m 外	
	久種湖風景林	既設	11.43	別表参照	久種湖を中心とする総合公園と一帯となったレクリエーション地区として、自然探勝、野外スポーツ等に利用される。	複	歩道外 (礼文町)		
	エリア峠風景林	既設	35.15	別表参照	エリア峠から東に稚内方面、南に利尻島、眼下に久種湖を臨み、トド島、スコトン岬が一望できる。	天	高山植物培養センター (礼文町)		
	ベニヤ原生花園風景林	既設	58.15	別表参照	オホーツク海に面した砂丘と湿原からなり、ハマナス、エゾイソツツジ等が群生している。オホーツクラインの一環として観光等での多くの来訪者に親しまれている。		歩道外 (浜頓別町)		
	岡島野鳥愛護活動林	既設	3.83	別表参照	民有地を含む地域一帯が渡り鳥の中継地であり、水鳥の飛来する景観が沿線の国道から眺望できる。	天			
	知駒岳風景林	既設	28.81	別表参照	野生鳥獣の観察及び森林浴の場として親しまれている。	天			
	森林計画区計	9箇所	1,218.14						
森林計画区合計	15箇所	2,264.53							

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業  
天＝天然生林へ導くための施業

## 7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考	
遺伝子保存林	トドマツ利尻 遺伝子保存林	昭和44年	4.80	108 せ	林木育種事業を計画的、能率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。	
	トドマツ枝幸 遺伝子保存林	昭和45年	4.80	3051 め		
	トドマツ豊富 遺伝子保存林	昭和49年	4.13	4119 い		
	ガイマツ沼川 遺伝子保存林		昭和47年	7.85		36 り
				1.67		36 め
				1.06		36 か
	計		10.58			
	アカエゾマツ中頓別A 遺伝子保存林	昭和50年	5.98	2035 い		
アカエゾマツ中頓別B 遺伝子保存林	昭和50年	4.44	2035 ろ			
森林計画区計	6箇所	34.73				
検 定 林	北旭7号地域差検定林	昭和63年	6.26	1050 よ	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、一群の精英樹系統種苗が揃って良好な成長を示す地域(適応範囲)を判定し、種苗の配布区域を定める目的で設定された検定林。	
	北旭12号地域差検定林	平成4年	2.00	2087 ね		
	北旭13号地域差検定林	平成4年	2.00	22 そ		
	北異郷土旭10号 試植検定林	昭和41年	5.89	27 ほ	外国からの導入樹種や古くからの古来品種の林分特性、または、立地適応等の検定などを目的として設定された検定林。	
			0.56	27 口		
	計		6.45			
北異郷土旭13号 試植検定林	昭和42年	3.59	27 よ			
森林計画区計	5箇所	20.30				
施 業 指 標 林	天然林施業指標林	昭和45年	1.06	2047 い	天然林の施業にあたり、天然力を活用して成長量増大な林分に誘導する。	
			0.47	2047 ろ		
			0.17	2047 は		
			0.11	2047 に		
			3.51	2047 ほ		
	計		5.32			
	北限海岸地帯緑化 施業指標林	昭和46年	0.99	75 り	海岸地帯の未立木地緑化技術を確立する。	
			1.53	75 め		
計		2.52				
トラクタによる造林 施業指標林	昭和46年	8.69	1086 つ	大型機械による造林作業体系を確立する。		
森林計画区計	3箇所	16.53				
試 験 地	志美宇丹トドマツ人工林 収穫試験地	昭和38年	1.10	3153 い	所属施業団の現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する。	
	下頓別カラマツ人工林 収穫試験地	昭和40年	1.04	2013 い		
	幌延カラマツ人工林 収穫試験地	昭和43年	1.00	4085 い		
	浜頓別トドマツ 産地試験地	昭和42年	7.02	1010 ろ	トドマツ産地試験。	
			2.00	1010 は		
	計		9.02			
枝幸カラマツ 産地試験地	昭和34年	5.00	3006 い	カラマツ産地試験。		

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	北限造林樹種 適応試験地	昭和40年	1.84	88 い	広大な北限未立木地の森林造成のための 植栽樹種選定の資料を得る。
			2.30	88 ろ	
			1.00	88 は	
			0.14	88 に	
			2.00	88 ほ	
			0.20	88 へ	
			0.60	88 と	
			0.67	88 ち	
			3.20	88 り	
			0.40	88 ぬ	
			3.16	88 る	
			0.60	88 わ	
			3.40	88 か	
			0.16	88 お	
	計	19.67			
	森林計画区計	6箇所	36.83		
モデル林	海岸林造成モデル林	平成12年	1.85	3240 は01	水土保全林における海岸防風林の森林 整備をわかりやすく示す場として設定。
			0.70	3240 ほ01	
			5.04	3240 わ	
			3.45	3240 か	
				計	
	森林計画区計	1箇所	11.04		
	森林計画区合計	21箇所	119.43		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
138 ぬ	ふれあいの森として やませの森	協定面積0.50ha 礼文島自然倶楽部
156 の	ふれあいの森として ノウシ明日の森	協定面積0.20ha ノウシ明日の会
森林計画区合計		2箇所 面積:0.70ha

(3) 森林共同施業団地

該当なし